

島の自然

島固有の生き物と色鮮やかな植物が息づく

Natural Beauty

“ダイウビロウとダイウオオコウモリ”南大東島のヌシです。開拓が始まるはるか昔から島に住み、しかも世界で南北大東島だけを生殖地とします。太平洋の真ん中の島で暮らす植物や動物は、他の地域との交流が絶たれて独自の進化をとげダイウコノハズク、ダイウメジロ、…など、「世界でたった一つ」の種が数多く存在することになりました。

大池のオヒルギ群落

●国指定天然記念物
昭和50年3月18日文部科学省指定

南大東の北部にある「大池」の北端周辺にある湿地帯には、数千本のオヒルギが群生しています。オヒルギは本来泥土質の海岸に生育する樹林（マングローブ）を成す構成種であり、オヒルギがこのように内陸部に分布する事は、この島の珊瑚礁の発達と地盤の変動の経過を示すものと考えられ内陸封鎖型のオヒルギとして特異な生態を現したものとして学術上価値が高いものです。

ダイウコノハズク

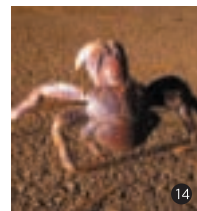
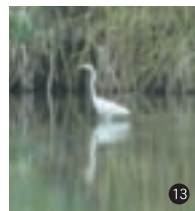
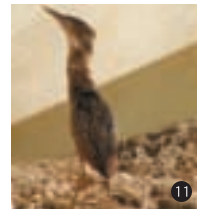
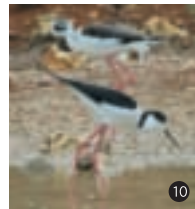
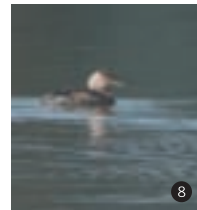
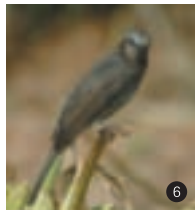
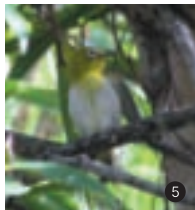
南北大東島だけに生息する固有亜種。絶滅が危ぶまれます。



ダイウビロウ

ボロジノニシキソウ

島が誕生した赤道以南に分布する多年草の固有亜種で、国内では南北大東島にしかいません。秋に小さな花をつけ、気温が低くなると茎が紅色に染まり花と葉の緑とのコントラストが非常に美しいです。学術上貴重な植物です。



東海岸植物群落

●国指定天然記念物
昭和50年3月18日文部科学省指定

南大東島の東側の海岸付近の岩場と防風林にはミフクラギ、アダン、ケツメグサ、モンパンパノキ、コウライシバ、アツバコク、ボロジノニシキソウ、イソフサギなどの海岸植物の混生した群落が見られます。このうち、アツバコクは、ハワイ、小笠原諸島と南北大東島だけに分布する種であり、ボロジノニシキソウは、オーストラリア、マリアナ諸島と南北大東島に分布する種です。

ダイウオオコウモリ

●国指定天然記念物
昭和48年6月2日文部科学省指定

南北大東島だけに生息する固有亜種で学術上貴重な存在です。翼を広げると80cm以上にもなる日本で一番大きなコウモリで、首のまわりの体毛が美しい白色や金色である点が大きな特徴です。日中は林の中で休息し夜になると活動を始めフクギ、ヤラブの実やピロ一の花などを好んで食べ餌の実が熟れる時期、集落内や民家近くでも見ることが出来ます。

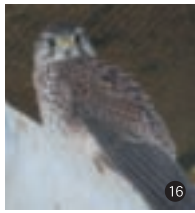
南大東島のシンボルの存在となっています。



4



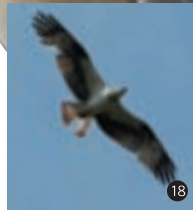
15



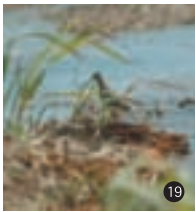
16



17



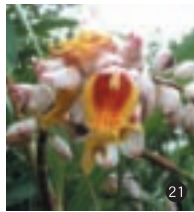
18



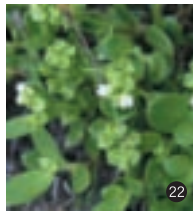
19



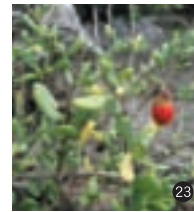
20



21



22



23

- 1 ダイウビロウ
- 2 ウスジロイソマツ
- 3 ダイウコノハズク
- 4 ヨシゴイ
- 5 ダイウメジロ
- 6 ダイウヒヨドリ
- 7 ササゴイ
- 8 ダイウカイツブリ
- 9 イソシギ
- 10 セイタカシギ
- 11 リュウキュウヨシゴイ



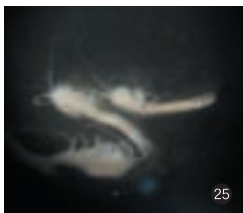
24



26



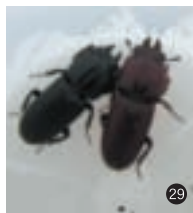
28



25



27



29

- 12 コサギ
- 13 ダイサギ
- 14 ヤシガニ(アンマク)
- 15 ヤマシギ
- 16 チョウゲンボウ
- 17 アオサギ
- 18 ミサゴ
- 19 タシギ
- 20 ウスジロイソマツ
- 21 月桃(ソーカ)
- 22 オオソナレムグラ
- 23 アツバクコ
- 24 ドウクツヌマエビ
- 25 テルモスバエナ
- 26 ホラアナゴマオカチグサ
- 27 オハグロテッポウエビ
- 28 ダイウヒラタクワガタ
- 29 ダイウマメクワガタ

美しい洞窟に生息する生き物。



悠久の時間が創りだした 美しい星野洞

センサー式の照明と遊歩道が整備された洞内は、自然が創った奇跡の芸術の宝庫。シンと静まり返った空間に、聞こえてくるのは滴り落ちる水音と自分の足音だけです。地の底へ降りていくようなスリリングな冒険気分が満喫できます。ライトアップされた鍾乳石の美しさに目を奪われる、神秘的な美しさです。